

都城市立祝吉小学校の実践事例紹介

こころ学級の子ども達は、自分自身へ語りかけることで感情と言動を調整するのに役立つことばを「こころの中のことば」と呼んでいます。そして、以下のような学習カードを使った学びと実践、振り返りを積み重ねているところです。

こころの中のことば



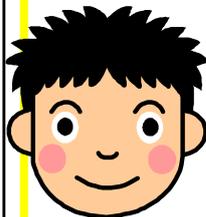
()が()にち なまえ()

みてすぐ、きいてすぐ、おもいついたらすぐに
やってしまう・いってしまうことが おおくないですか？

すぐにいたり やったりすると、
まちがったいいかた・やりかた、わるいいかた
やりかたになることもあります。
そうすると、とてもそんをすることに なります。



こころのなかのことばがつかえるようになろう。



いたり やったりするまえに、こころのなかで

「ちょっとまって」
とつぶやきます。



1つのことだけがきになってしまうひとへ



()が()にち なまえ()

あなたの やることは、たくさん
あります。

さっと きぶんを
かえます。
つぎの ことを
かんがえます。

うごけなくなっ
ている人

あなたの たいせつな じかみを
ひとつの ことだけに つかいません。

()が()にち なまえ()

じゃまいかチャンスにきづこう

まず、「あれ、うまくいかないぞ」と、きづきましょう。
そして、

やったー、じゃまいかチャン
スだ。

と、かんがえましょう。

じゃまいかチャンスとは、あなたをせい
ちようさせるチャンスのことです。
チャンスをつかもう。

